

平成14年度 第1回収蔵文書展

## 報道写真にみる戦後の埼玉



2002年10月26日（土）～12月15日（日）

埼玉県立文書館

## 開催にあたって

昨年度、埼玉新聞社が昭和22年(1947)から撮影した報道写真のフィルムが、埼玉県立文書館へ寄贈されました。寄贈されたフィルムは約55,000コマにのぼり、その内容は占領軍である埼玉軍政部の活動や戦地からの引き揚げの様子、事件事故だけでなく、県内各地の戦後の町並みや人々の生活、季節の風景・風物詩など多岐にわたります。これらは単に写真という枠に止まらず、「目でみる埼玉の戦後資料」として、あるいは「戦後埼玉の語り部」として、県政のみならずその時々々の社会や世相、当時の庶民生活を知る上で大変貴重な現代史の資料といえるでしょう。当館としては、この貴重な報道写真を文書館資料として、広く県民のみなさまに公開し御利用いただけるよう、整理・保存作業を進めてまいりました。この写真資料のうち、特に利用希望の多い昭和22～30年の写真約10,000枚を10月から公開し、併せて収蔵文書展「報道写真にみる戦後の埼玉」を開催いたします。この展示を通し埼玉新聞社撮影報道写真の持つ歴史的価値を広く認識していただくとともに、今後みなさまに一層御活用していただければ幸いです。最後に、本展示を開催するにあたり貴重な資料を御提供いただきました埼玉新聞社をはじめ、御協力をいただきました関係各位に対し厚くお礼申し上げます。

平成14年10月

埼玉県立文書館

○：写真パネル \*：原資料 ☆：表紙写真

### 戦後の混乱を撮る

パネルの表題又は資料名称	撮影年月日 新聞掲載年月日	写真番号又は資料番号
○帰国前に最後の会見を行う、埼玉軍政部初代司令官ライアン中佐と埼玉新聞支局長	1948 (昭和23). 3. 8	NO. 00037
○シベリアから引き揚げてきた埼玉県出身の復員兵48名、上野駅に到着	1948 (昭和23). 5. 10 1948 (昭和23). 5. 11	NO. 00061
○98名の子どもたちへ・・・ユニセフから月に1回ミルクの贈り物(浦和保健所にて)	1949 (昭和24). 11. 16 1949 (昭和24). 11. 17	NO. 00489
○基地の町 朝霞の風景	1955 (昭和30). 8. 27 1955 (昭和30). 8. 28	NO. 09827

第二次世界大戦中熊谷をはじめ県内各地は爆撃による被害を受け、埼玉の戦後はまさに「廃墟からの出発」でした。終戦直後から浦和には埼玉軍政部の司令部が置かれ、入間川・朝霞・大宮などには基地が設置されました。1949年(昭和24)の埼玉軍政部の撤退以降も、基地が残された地域は「基地の街」として様々な問題を抱えながらも戦後を生きてきました。その他、戦地からの復員や引き揚げ、困窮する庶民生活、闇市の様子など、写真は当時の実情を今に語っています。

### 世相を撮る

パネルの表題又は資料名称	撮影年月日 新聞掲載年月日	写真番号又は資料番号
○「(朝鮮)戦争反対」「自由と平和と独立を保障する全面講和の推進」を謳った第21回メーデー中央大会(旧浦和市・玉蔵院にて)	1950 (昭和25). 5. 1 1950 (昭和25). 5. 2	NO. 00887
○列島を南北につなぐ貨物輸送の要一大宮操車場で夜を徹して続く貨車の入替作業(旧大宮市)	1950 (昭和25). 11. 21 1950 (昭和25). 11. 24	NO. 01579
○町の発明家が「ちょっと拝借！」とテレビ放送を受信。実験公開に群がる人々(旧浦和市・高砂にて)	1951 (昭和26). 3. 22 1951 (昭和26). 3. 23	NO. 01994
○全国でただひとつ「鋳物製の郵便ポスト」をつくる工場(川口市内にて)	1951 (昭和26). 10. 12 1951 (昭和26). 10. 15	NO. 02848
*躍進する川口の産業 [埼玉新聞 1951 (昭和26). 10. 15付け]		当館所蔵
☆○ホコリを巻きあげながら到着し、わが物顔で並ぶバスの群(浦和駅前にて)	1952 (昭和27). 3. 24 1952 (昭和27). 3. 27	NO. 03521
○約2時間で173俵を押収。ヤミ米の一斉取り締まり(大宮駅にて)	1952 (昭和27). 6. 11 1952 (昭和27). 6. 12	NO. 03920
○「つわもの共が夢の跡」戦闘機の格納庫も、今では農家の納屋代わり(所沢市内にて)	1952 (昭和27). 11. 29 1952 (昭和27). 12. 7	NO. 04668
*街の片隅「つわもの共が夢の跡」 [埼玉新聞 1952 (昭和27). 12. 7付け]		当館所蔵

1950年(昭和25)6月に勃発した朝鮮戦争を契機として、国内産業は活況を呈するようになります。県内でも「鋳物業」をはじめとする各種産業が復興の兆しをみせ、特に工業部門はこの朝鮮特需を境に著しく発展しました。まだ闇米の取締は厳しく、米の供出や食糧増産が叫ばれている時期でしたが、この頃から写真はレクリエーションに興じる庶民の様々な姿を撮っており、戦後だんだんと活気を取り戻していく街の雰囲気や人々の明るい表情を伝えています。

## 県政を撮る

パネルの表題又は資料名称	撮影年月日 新聞掲載年月日	写真番号又は資料番号
○県庁の大火。議事堂〔1913年（大正2）完成〕を残し、1890年（明治23）建築の県庁舎のほとんどが焼失	1948（昭和23）. 10. 25~27 1948（昭和23）. 10. 27~28	NO. 00135
○12月10日の県庁舎落成祝賀行事を控え活気づく浦和駅前	1951（昭和26）. 12. 4 1951（昭和26）. 12. 6	NO. 03115
*「埼玉県庁」（『埼玉県写真帳』大正10. 3. 30発行より）		当館所蔵 290. 38サ
*「埼玉県庁及び議事堂」（『記念帳』より）		当館所蔵 飯野家993
○弊害なき町村合併を目指して・・・第1回町村合併促進審議会開催（県庁にて）	1953（昭和28）. 10. 8 1953（昭和28）. 10. 9	NO. 06637
*「町村合併促進法」（昭和28. 8. 8成立）のしおり		埼玉県行政文書8752-1
*埼玉県町村合併促進審議会の設置について〔1953（昭和28）. 10. 19〕		埼玉県行政文書8737-1
○「家事労働、2時間節約！」簡易水道が完成し、大喜びの主婦たち（北埼玉郡太田村（現、行田市）にて）	1955（昭和29）. 5. 8 1955（昭和29）. 5. 8	NO. 09364
○県人口2,262,576人。国勢調査終了後、五色のテープで彩った輸送車に乗せ、調査票を総理府へ送り出す大沢知事（県庁玄関前にて）	1955（昭和30）. 11. 6 1955（昭和30）. 11. 8	NO. 10182

1947年（昭和22）のカスリン台風の大水害、翌年の県庁火災など、戦後の県政は波瀾万丈の幕開けであったといえるでしょう。新聞紙面には女性参政権の付与・学校教育の民主化・公職追放・農地改革の推進・労働組合の育成をはじめとする様々な改革や、1953年（昭和28）以降に押し進められた町村大合併に関する記事などが掲載されています。そうした記事とともに、写真にはその改革に戸惑ったり、あるいは喜んでいる庶民の姿が撮られています。残された報道写真は、まさに「戦後の埼玉県政、そして埼玉県民のアルバム」といっても過言ではありません。

## 子どもを撮る

パネルの表題又は資料名称	撮影年月日 新聞掲載年月日	写真番号又は資料番号
○裸足で雑巾がけ（旧浦和市・常盤小にて）	1950（昭和25）. 1. 30	NO. 00716
☆○豪華ランチ？月に4回だけど、今日からはじまったパン給食（旧浦和市・常盤小にて）	1950（昭和25）. 6. 22 1950（昭和25）. 6. 23	NO. 01008
○見える？子どもに大人気の紙芝居（秩父）	1951（昭和26）. 9. 3	NO. 02641
○麦畑を背に青空教室（熊谷）	1953（昭和28）. 11. 26	NO. 06952
○人気力士若葉山は力持ち	1955（昭和30）. 1. 7	NO. 08828
*墨塗り教科書（初等科国語四）〔昭和17年（1942）発行〕		当館所蔵 藤井家1021
*日本の歴史 上〔昭和21年（1946）発行〕		当館所蔵 森末家41
*私たちの生活 一～四〔昭和21（1946）～22年発行〕		当館所蔵 森末家1～4

荒川で水遊びする男の子たち、ススキをとる女の子たち・・・フィルムには、食糧や物資が今とは比べようもないほどに不足していた時代を、明るく逞しく生きていた当時の子ども達の姿がたくさん残されています。これらは「報道写真」として新聞に掲載されたものはほとんどありませんが、撮影した記者の暖かな眼差しが感じられるものです。また、当時の子どもの姿を撮った映像は少ないため、今では貴重な記録でもあります。

## 文化・スポーツを撮る

パネルの表題又は資料名称	撮影年月日 新聞掲載年月日	写真番号又は資料番号
○稲荷塚古墳の発掘調査はじまる（旧大宮市・側ヶ谷戸古墳群中）	1953（昭和28）. 4. 15 1953（昭和28）. 4. 16	NO. 05642
○力道山、大宮に来る！県内初お目見えのプロレスに大熱狂（大宮競輪場にて）	1955（昭和30）. 7. 31 1955（昭和30）. 8. 1	NO. 09714
*熱闘のプロレス大試合〔埼玉新聞1955（昭和30）. 8. 1付け〕		当館所蔵

1950年（昭和25）頃になると、スポーツや文化に関する記事が紙面を賑わすようになります。浦和一女バスケット部（1950年）や浦高サッカー部（1951年）が国体などで優勝した影響もあるのですが、スポーツや文化に関心を持てるほど生活に余裕がでてきた証ともいえるでしょう。また、今ではもう行われなくなった村の伝統行事や考古学の発掘調査に関するものもあり、当時の伝統行事の様子や遺跡・遺物の調査の様子を知ることできます。

## 次代に伝えるために

寄贈となった埼玉新聞社撮影報道写真フィルムは、記者が撮影したフィルムを本社編集局写真部で日々整理・保存してきたものです。当館で寄贈を受けた後は、老朽化したフィルムを中性紙でできた専用フォルダーへ入れ替えるなど、公開に向けて徐々に整理・保存作業を進めてきました。これらのフィルムは県内で起きた事件・事故のみならず、急激に変化した庶民生活や街並みなどを的確に捉えた戦後史の資料として、貴重な文化財のひとつといえるでしょう。

かけがえのない資料を次の世代に確実に伝えていくために、当館では公開に際しては複製品で対応し、今後フィルムは原資料として大切に保存していきます。

# SAITAMA PREFECTURAL ARCHIVES

## 利用案内

開館時間 9:00~17:00

休館日 月曜日、国民の祝日・休日、  
毎月末日、年末年始  
特別整理期間（春秋各10日以内）

### 交通案内

JR 京浜東北線・高崎線・宇都宮線：  
浦和駅西口下車徒歩12分

JR 埼京線：  
中浦和駅下車徒歩15分

国際興業バス：県庁裏下車



### ●凡 例

- 1 展示で使用したパネルは、すべて「埼玉新聞社撮影ネガフィルム」による。
- 2 本文に掲載されているパネルの表題は、埼玉新聞掲載記事とは必ずしも一致しない。
- 3 本書の編集及び執筆は古文書課学芸員加藤かな子が担当し、嘱託犬飼大の補佐及び古文書課職員の協力を得た。

### ●協力機関・協力者（敬称略）

埼玉新聞社／飯野時子／森末 千／藤井 真

### 平成14年度第1回収蔵文書展

「報道写真にみる戦後の埼玉」

発行日：2002年10月

編集・発行：埼玉県立文書館

〒336-0011

さいたま市高砂4-3-18

TEL 048-865-0112 FAX 048-839-0539

HP <http://www.pref.saitama.jp/A20/BA18/index1.html>